

公益財団法人 日本サッカー協会
2015年度 第1回理事会

協議事項

1. 障がい者サッカー協議会（仮称）設置の件

11 プロジェクトの一つである、グラスルーツ推進プロジェクト・障がい者スポーツ検討ワーキンググループでは、各種障がい者サッカーへのサポートの在り方の検討を目的に、2014年度より実態調査並びに各団体との意見交換会を実施し、議論を重ねてきた。

今後、これらをさらに推進すべく、ワーキンググループメンバーが連携しつつ、その所管を新設されたグラスルーツ推進部へ移行し、「障がい者サッカー協議会（仮称）」を設置・運営することで、統括団体の創設や事業協力等、より具体的な検討を進めていきたい。

【現状の課題】

- ・ JFA が障がい者サッカーのサポートを実施するにあたり、一本化された組織（窓口）がないため、統一的な対応ができない状況となっている。
- ・ 法人格未取得の団体が多く（7団体中5団体）、ガバナンス、責任の所在の意味においても、オフィシャルに組織間連携を構築することができない状況となっている。
- ・ いわゆる健常者サッカーに携わる者（指導者、審判等）が、各種の障がい者サッカーに関する知識、指導（コーチング）について情報を入手する機会が少ない。
- ・ 各種の障がい者サッカー団体とはこれまで緩やかなつながりはあったが、互いの現状等についての理解が深い状況とは言い難く、横の強固なつながりが構築できていないため、具体的な連携が一部に留まってしまっている。

【目的】

1. 統括団体の創設・法人化に向けた検討の実施
2. 各団体の法人格取得に向けたサポートの実施
3. 各種事業や指導者養成等における協働に向けた取り組みの実施
4. 各団体間の情報共有の実施
5. その他

【構成団体】（予定。依頼中の団体を含む）

- ・ 公益財団法人日本サッカー協会
- ・ 日本ブラインドサッカー協会
- ・ 日本脳性麻痺7人制サッカー協会
- ・ 日本ろう者サッカー協会
- ・ 日本知的障がい者サッカー連盟
- ・ 日本電動車椅子サッカー協会
- ・ 特定非営利活動法人日本アンプティサッカー協会
- ・ 特定非営利活動法人日本ソーシャルフットボール協会
- ・ 文部科学省
- ・ 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
- ・ 学識経験者
- ・ その他

【開始予定時期】

・2015年4月

【スケジュール（予定）】

| 日程 | 内容 |
|------------|------------------------|
| 2015年1月15日 | 協議会設置案を理事会に上程・承認 |
| 1月15日以降 | 各団体へ通知。メンバー推薦の依頼 |
| 2月28日 | 推薦書提出締切 |
| 3月 | JFA局内にて内容確認 |
| 4月 | 第1回協議会開催 |
| 4月以降 | 4半期毎を基本に会議を開催（別途部会の開催） |

2. 審判指導者（レフェリーフィットネスインストラクター）との契約の件

（協議）資料No.1

以下の1名と契約を継続したい。

レフェリートップフィットネスインストラクター

山岸貴司（やまぎし たかし）/1967年7月17日生 47歳

契約期間 2015年2月1日～2017年1月31日：2年間

3. 第3回全国シニア（40歳以上）サッカー大会日程変更の件

第3回全国シニア（40歳以上）サッカー大会の日程を以下の通り変更したい。

<日程変更>

変更前：11月7日（土）～9日（月） J-GREEN 堺

↓

変更後：11月14日（土）～16日（月） J-GREEN 堺

理由：天然芝養生期間の為。

4. 東日本大震災復興支援 特任コーチの件

東日本大震災の発生後の2011年10月から1年間にわたって加藤久氏が東日本大震災復興支援特任コーチとして活動。2013年1月に同氏の後任として、同じく東北出身の手倉森浩氏が復興支援特任コーチに就任した。

手倉森氏の活動は、「チームに寄り添いサポートする」という前任の加藤氏の基本姿勢を引き継ぎながらも「子どもたちと指導者のレベルアップ」にも着手し、特に被災地域の地区トレセンに対してナショナルトレセンコーチと共に指導実践やコーチへのサポート等を行い、分析力やコーチング力の向上に努めてきた。また、トレセンに限らず高校・中学の部活動（福島県相双地区）のサポートや指導者講習会（岩手県釜石市）、一般の子どもたち対象のフェスティバル（福島県中地区・郡山地区）を開催した。その他、被災地域の試合・練習環境の充実のためのサッカーゴール、被災地域の保育園・幼稚園へのミニゴールの寄贈等も企画し、実施するに至っている。

一方、震災発生後3年9ヶ月が経過した被災地域では、未だ復興の半ばにあり、特に津波の直接的な被害を受けた地域を中心に、引き続きサポートが必要な状況にある。こうした中で、継続して復興支援特任コーチを置き、被災地域の現場のニーズに合った復興支援活動を展開していく

必要がある。

については、震災後5年間を目処に活動を継続していくこととし、現行の手倉森浩復興支援特任コーチの活動を2016年1月末まで継続することとした。

なお、本件については、復興支援委員会においてその方針を確認済みである。

【契約期間（更新）】

2015年2月1日～2016年1月末日

【2013年度：手倉森浩特任コーチ：被災地訪問実績】（ ）内は訪問回数

[岩手県] 宮古・山田・大槌・釜石・大船渡・陸前高田の沿岸地域（47）

[宮城県] 仙南地区（32）、若林地区（13）、宮城野地区（24）、気仙沼他県北地区（13）、石巻（24）

[福島県] 県北地区（2）、相双地区（4）、県中郡山地区（6）、県南白河地区（7）、いわき地区（5）、会津地区（3）

【2014年度：手倉森浩特任コーチ：被災地訪問実績】（ ）内は訪問回数

[岩手県] 宮古・山田・大槌・釜石・大船渡・陸前高田の沿岸地域（51）

[宮城県] 仙南地区（16）、若林地区（10）、宮城野地区（7）、気仙沼他県北地区（14）、石巻（20）松島（13）、その他（23）計（103）

[福島県] 県北地区（7）、相双地区（11）、県中郡山地区（5）、県南白河地区（4）、いわき地区（10）、会津地区（4）計（41）

[その他] ナショナルトレセン・研修ほか（18）

※2014年度実績は2014年11月末日までの仮集計

5. 各種委員 変更の件

1月1日付け事務局内の組織変更及び人事異動に伴い、以下の通り委員を変更したい。

(1) 競技会委員会

委員（新）西澤 和剛 競技運営部長

野上 宏志 マーケティング部長

湯川 和之 代表チーム部長

（現）加賀山 公 管理部長

丸山 高人 コミュニケーション部長

松田 薫二 グラスルーツ推進部長

(2) 広報委員会

委員（新）丸山 高人 コミュニケーション部長

（現）西澤 和剛 競技運営部長

(3) リスペクト・フェアプレー委員会

委員（新）加賀山 公 管理部長

（現）安達 健 総合企画部担当部長

(4) JFA/Jリーグ将来構想委員会

委員（新）野上 宏志 マーケティング部長

（現）丸山 高人 コミュニケーション部長